学校要覧
2022

島根県立農林大学校

Shimane Prefectural College for Agriculture and Forestry

沿　　革

◆昭和 10 年　三瓶農民道場設立、同じ年に島根県森林道場(旧吉田村杉戸)が開設、翌年県営化
昭和 20 年　開拓増産修練農場　に改称
昭和 21 年　三瓶修練農場　に改称
昭和 23 年　三瓶農事指導所　に改称
昭和 24 年　三瓶経営伝習農場　に改称
◆昭和 26 年　三瓶経営伝習農場を廃止し、
農業経営研修所を農事試験場に併設
◆昭和 38 年　農林総合研修所を出雲市に新設
付属施設
養蚕研修所
畜産研修所
林業研修所

◆昭和 54 年　農林総合研修所を廃止し島根県立農業大学校新設
◆昭和 56 年　大田市に移転
◆昭和 57 年　農業大学校に養成部門、研修部門を置き新農業大学校となる
◆平成 18 年　森林管理科飯南町（中山間地域研究センター内）へ移転
◆平成 24 年　農林大学校に改称、有機農業専攻を新設、森林管理科を林業科に改称
◆令和 2 年　養成部門に短期農業経営者養成科を新設
◆令和 2 年 10 月　養成部門に農業科短期養成コース、林業科早期養成コースを新設

教育の目的と基本方針

目　的	次代の島根県の農林業をリードする農業者及び林業技術者の養成
基本方針	●高度な農林業技術と専門的知識を習得し、経営管理能力を養う。 ●広い視野に立って農林業を考え、技術革新、経営改善に積極的に取り組み、新しい農林業を創造する能力を養う。 ●先見性を持って流動的な社会情勢に対応するための分析力、判断力、行動力を養う。 ●農林業生産及び農山村社会におけるリーダーとして必要な指導力、企画力、調整力を養う。
教育の特徴	●実習を重視した実践教育 午前講義、午後実習が日課の基本／毎日が必須授業／農業者、林業技術者になるための専門学習に特化
	●学生主体のプロジェクト学習 講義で学習したことを実習を通じて実践的・総合的に学習／学生が各自のテーマを持ち、主体的に実習に取り組む

教育体系

本校には養成部門と研修部門の2部門があります。

養成部門
①高校卒業程度の方を対象にした2年間の学習課程　【農業科・林業科】
②社会人経験のある方等を対象にした1年間のカスタム型カリキュラム
【農業科　短期養成コース】
③社会人経験のある方等を対象にした1年間のカリキュラム
【林業科　早期養成コース】

研修部門
新規就農希望の方、農林業経営の改善を図りたい方などのための研修を実施

養成部門

・入学資格は高校卒業程度
・希望入寮制

※ 令和3年度から農業科に「就農準備コース（2年次）」を開設しました。

科　名	専　攻	定　員	修業場所	修業年限
農業科※	有機農業	45人	大田市波根町	2年
	野　　菜			
	果　　樹			
	肉 用 牛			
	短期養成コース			1年
林業科		20人	飯石郡飯南町上来島	2年
	早期養成コース			1年

農業科

有機農業専攻

自給肥料や育苗用土作り、機械除草、天敵やネット被覆による害虫防除技術等を用いて、水田では水稲と大豆の輪作、ハウスや露地畑では多品目野菜を栽培し販売します。また、自動換気や潅水、GPSトラクター等最先端のスマート農業機器により、省力化も図ります。さらに、県内の有機農業経営体への視察や短期研修を通じて、有機農業の実践的な栽培技術や販売、経営手法を学びます。

野菜専攻

メロン、トマト、きゅうり、いちごなどの品目を様々な作型で学生自らが生産計画を作成します。資器材の選定、播種、育苗から収穫・調製まで責任を持って管理に携わることで野菜栽培の基礎をしっかり身に付けることができ、また、環境制御機器や養液栽培技術を駆使して高度な施設野菜栽培の方法も学ぶことができます。足下がキレイでハウス内は『スニーカー農業』です。

果樹専攻

ハウス栽培のぶどうやすももを中心に、果樹の生産管理はもとより、苗木づくりや若木育成なども実践し、果樹経営に必要な技術・知識を習得します。特に、ぶどうでは本県育成のオリジナル品種「神紅」の試験栽培、すももではジョイン仕立て栽培、美味しまね認証にも取り組み、これからの新しい農業経営スタイルを目指した、より実践的な考え方を磨きます。

肉用牛専攻

家畜飼養管理、家畜栄養飼料及び畜産経営などを学び、畜産に必要な幅広い知識を身に付けます。農場では繁殖・肥育一貫経営を軸に肉用牛の生産・管理技術を身に付け、大型農業機械による飼料作物の栽培・収穫・貯蔵技術を実践します。また、家畜人工授精師、削蹄師、家畜商や大型農業機械などの資格にも挑戦します。

短期養成コース

カリキュラム（農業科の基礎講義、県内外の第一線で活躍する講師を招いた特別講義、学校ほ場での農業実習、就農に必要な資格・免許の取得、就農予定地研修など）を自身の就農ビジョンに合わせてカスタマイズすることで、農業経営者に必要な知識・技術を短期間で習得することができます。入学前から自身の「就農ビジョン」を持って入学するため、卒業後スムーズに就農できます。

林業科

「森林を守り、育て、活かす」という視点に立って、森林の実践的な管理や高性能林業機械等を使用した木材の伐採・搬出、労働安全に関する資格などを実習主体のカリキュラムによって習得します。また、ICT機材の利用や企業経営についても学習し、森林の経営・管理、木材生産、事業体経営に向けた即戦力となる人材を養成します。（2年次に「森林技術コース」と「経営管理コース」のどちらかを選択）

早期養成コース

森林・林業に関する基本的な知識や技術を習得するとともに、労働安全に関する各種の資格取得、実践を想定した実習や林業事業体でのインターンシップ等により、林業現場において即戦力となる人材を短期間で養成します。

農林大の一日

午前は講義中心

午後は実習中心

8:40～	8:50～10:20	10:30～12:00	12:00～13:00	課業準備	13:20～14:50	15:10～16:40	～17:00
HR	1限（90分）	2限（90分）	昼休み		3限（90分）	4限（90分）	課業整理

イベントカレンダー

- **4月** 春季スポーツ大会　入学式
- **5月** 就農セミナー　鳥取農大交歓会
- **6月** 林業事業体合同説明会　就農ガイダンス
- **7月** 農大祭
- **8月** 夏季スポーツ大会　オープンキャンパス
- **9月** 前期試験　先進農林業者等体験学習（2年）
- **10月** 校外学習2年　中国地区農大生の集い
- **11月** 秋季スポーツ大会
- **12月** 日本農業技術検定
- **1月** 冬季スポーツ大会　中国四国農業大学校プロジェクト発表会　卒業論文発表会
- **2月** 後期試験　全国農業大学校プロジェクト発表会
- **3月** 卒業式

学校行事

- 農大祭をはじめ、スポーツ交流会、鳥取農大との交歓会など、学生自治会が中心になって運営しています。
- オープンキャンパス「緑の学園」を夏に開催しています。

（各種行事は新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言等により中止の場合があります）

教育科目

農業科	共通科目		農業概論、作物概論、植物生理、土壌肥料、作物保護、農業気象、園芸施設、農業機械演習、農業経営、マーケティング概論、マーケティング演習、農業政策、アグリビジネス、食の安全安心、農業組織論、野生鳥獣被害対策、環境保全と農業、農業簿記、農業簿記演習、情報処理、農業基礎実習、特別集中講義
	専攻科目	有機農業	有機農業、有機稲作、有機農業先進事例講義、専攻実習（有機稲作・有機野菜）、地域農業実習、地域有機農業体験実習（先進農家での有機栽培体験）、先進地農林業者等体験学習
		野　菜	園芸各論（野菜）、専攻実習（野菜）、地域農業実習、先進地農林業者等体験学習
		果　樹	園芸各論（果樹）、専攻実習（ぶどう、柿、すもも、梨、いちじく等）、地域農業実習、先進地農林業者等体験学習
		肉用牛	家畜飼養管理、家畜繁殖、家畜栄養飼料、草地飼料、家畜解剖生理、家畜審査、家畜育種、家畜衛生、牛胚移植概論、畜産経営、専攻実習、地域農業実習、先進地等農林業者体験学習
	短期養成コース		農業科共通科目、専攻別講義、経営力入門、マーケティング・流通、ファイナンス・会計、マネジメント、農業基礎知識、経営革新（特別集中講義必修）実習　先進農家等視察、就農予定地研修ほか
林業科	2年課程		林業入門、林業施策、情報処理、森林経営、林業経理、事業体経営、事業体管理、樹木、森林計測（測樹、測量）、森林GIS、木材利用、森林資源活用、木造建築、林業機械・労働安全、林業機械、伐木技術、森林路網、資格取得、育林技術、育苗技術、森林保護、体育、専攻実習、先進農林業者等体験学習
	1年課程(早期養成コース)		林業入門、林業施策、森林経営、樹木、森林計測（測樹、測量）、森林GIS、木材利用、林業機械・労働安全、伐木技術、資格取得、育林技術、体育、専攻実習、先進農林業者等体験学習

資格・免許

在学中、次の免許または資格等が取れるように支援します。

●農業科共通

◇大型特殊運転免許　◇フォークリフト運転技能者　◇ボイラー取扱技能者
◇車両系建設機械運転技能者（整地・運搬・積込及び掘削用）　◇刈払機取扱作業者
◇毒物劇物取扱者（一般、農業用品目）　◇危険物取扱者（乙種４類）◇けん引免許（農耕車限定）
◇ガス溶接　◇小型移動式クレーン運転技能者 ◇日本農業技術検定 ◇狩猟免許（わな猟免許）

●肉用牛専攻

◇家畜人工授精師　◇家畜商　◇削蹄師

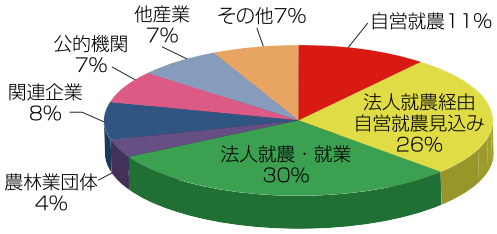
●林業科

◇大型特殊自動車免許　◇車両系建設機械運転技能講習（整地・運搬・積込及び掘削用）
◇林業架線作業に関する講習（修了後実務経験２年以上で免許申請が可能）
◇伐木等業務特別教育　◇刈払機取扱作業者安全衛生教育　◇伐木等機械の運転業務に係る特別教育
◇走行集材機械の運転業務に係る特別教育　◇簡易架線集材装置等の運転又は架線集材機械の運転業務に係る特別教育
◇機械集材装置運転業務特別教育　◇林業種苗生産事業者講習　◇玉掛け技能講習　◇小型移動式クレーン運転技能講習
◇フォークリフト運転技能講習　◇赤十字救急法基礎講習　◇赤十字救急法救急員養成講習　◇狩猟免許（わな猟免許）
◇森林情報士（２級）（卒業後申請可能）

進　路

卒業後の進路は、自営就農、雇用就農・就業（農業法人、森林組合等に就職）、一旦雇用を経て自営就農見込み、ＪＡなどの農業団体や農業資材販売など農業関連企業へ就職など多様ですが、ほとんどの学生が島根県の農林業を担う職業に就いています。
本校では無料職業紹介事業を実施しており、個々の学生の希望に応じた進路相談を行っています。

卒業生の進路（令和3年度）



主な進路（R2、3年度実績：２年生課程）

●自営就農：野菜、果樹
●農業法人等：㈲三和農産、ＪＡいずもアグリ開発㈱、(農)はね営農組合、(農)のきの郷、由志園アグリファーム㈱、㈱宮村農園、㈲グリーンサポート斐川、㈱米ライフ、辻農園、神田農産㈱、南農園、(農)みつば農産、㈱小松ファーム、㈱錦織農園、㈱ガーネットガーデン、安来市特定地域づくり事業協同組合、㈱オーサン、㈱ SBN(赤来高原観光りんご園)、㈲藤増、㈱松永牧場、㈲旭養鶏舎、㈲中山農場、佐々木祥二、㈱浜田メイプル牧場
●農業団体：島根県農業協同組合(本店、出雲地区本部、石見銀山地区本部、西いわみ地区本部)
●森林組合等：石央森林組合、大田市森林組合、出雲地区森林組合、飯石森林組合、邑智郡森林組合、山口県中央森林組合、㈱たなべたたらの里、伸共木材協同組合、㈱もちだ園芸、㈱きこり、島根合板㈱、㈱トビムシ、㈱美都森林、浦田木材㈱
●関連産業：㈱ヤンマーアグリジャパン、㈱アークス、㈱ヰセキ中四国、出雲大同青果㈱

在校生からのメッセージ

私は有機農法を学ぶために大阪から農林大学校に入学しました。担当作物があったり、農業機械を扱ったりと、初めてのことがたくさんでとてもやりがいを感じています。先生方が親身になって指導してくださり、仲間と共に成長し合える学校です。ぜひ一緒に学びましょう！

農業科有機農業専攻２年　堂安実桜

私は、将来野菜作りがしたいと思い農林大学校に入学しました。ここでは、自分でハウス管理をすることができ、栽培計画から収穫までを学ぶことができます。
優しい先生方に御指導を頂きながら毎日楽しく過ごしています。

農業科野菜専攻２年　大下実花

私は、ぶどう栽培を学ぶために果樹専攻に入りました。農業の知識がなくても先生や先輩方に教わりながら楽しく学ぶことができます。時に大変な作業もあるけれど、仲間と協力して充実した毎日を過ごしています。ぜひ一緒に学びましょう。　　農業科果樹専攻　2年　長本礼央

私は、肥育牛の管理や牛の疾病について学びたくて入学しました。肉用牛専攻では、学生主体となって、牛の飼養管理を行っています。そのため、牛の知識について主体的に学ぶことができ、日々命を密接に感じています。かわいく、かっこいい牛たちとふれあいながら、皆さんも一緒に勉強してみませんか。　　農業科肉用牛専攻２年　中川愛優

林業は、自然の中での仕事なので、いつも条件が違って大変なことが多いです。でも、同じ目的を持って入学した仲間達と共に、日々の実習に楽しく取り組んでいます。アルバイトでも寮内でもお互いに刺激しあい励ましあいながら過ごしています。学校で得た沢山の経験と資格を持って、卒業後は地元の林業事業体で頑張っていきたいと思います。皆さんも農林大学校で一緒に林業を学んでみませんか？　　林業科2年　松井孝太朗

卒業生からのメッセージ

私は今、安来市でぶどうの新規就農者として日々頑張っています。
栽培技術や経営の事など農林大学校で学んだひとつひとつが今の私の糧となっています。
座学だけでなく生物とふれあうことができる農大でぜひ学んでみてはいかがでしょうか！　　令和3年度卒業生　大森菜月

研修部門

これから農業を始めようとする方への研修

研　修　名	内　　容	対　象　者	開催時期
特別集中講義	マーケティングや農業簿記、マネジメントスキルなど、農業経営者として必要な知識や技術を基礎から最新分野までテーマ毎に集中的に学ぶことができます。	新たに就農する方 地域おこし協力隊等の研修生の方	6月～翌年1月

林業技術を高めたい方への研修

研　修　名	内　　容	対　象　者	開催時期
林業 エンジニア研修 （林業架線作業に関する講習）	本県の地形条件、路網配置、森林資源の成熟化を踏まえ、主伐の促進・木材生産性の向上を図るため、機械集材装置を用いた作業に携わる専門的かつ高度な知識・技術を備えた人材を育成します。	認定事業体の従業員	6月

寮紹介

農業科

清友寮（せいゆうりょう）

農林大学校敷地内にある男子寮です。部屋は一人一室です。

友波寮（ゆうなみりょう）

農林大学校敷地内にある女子寮です。部屋は一人一室です。

林業科

飯南寮（いいなんりょう）

中山間地域研究センター（農林大学校飯南校）から約3kmの地点にある学生寮です。部屋は一人一室です。

（ミニキッチン付、バス・トイレ共用）

来島寮（きじまりょう）

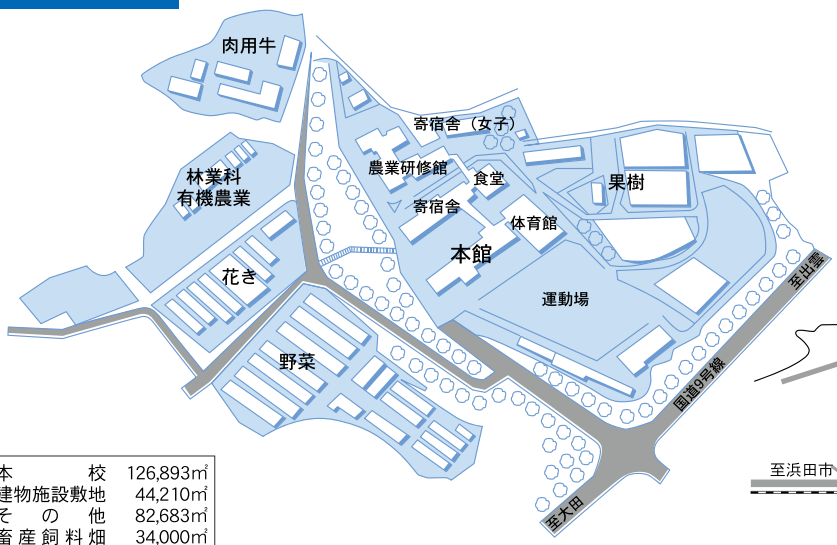
中山間地域研究センター(農林大学校飯南校)の敷地内にある学生寮です。部屋は一人一室です。

（ミニキッチン・バス・トイレ付）

※清友寮・友波寮は有線LAN、飯南寮・来島寮は無線LANによるインターネット接続が可能です。

農林大学校　施設・設備　配置図

大田本校



本　　校	126,893㎡
建物施設敷地	44,210㎡
そ　の　他	82,683㎡
畜産飼料畑	34,000㎡
演　習　林	35,599㎡

案　内　図

・波根駅から徒歩約15分
・大田市駅から約6km

林業科（飯南校）

※飯南校は島根県中山間地域研究センター
施設の一部を使用しています。

島根県立農林大学校

ホームページやfacebookで学校の様子を随時掲載しています。
【新着情報】を
チェックしてみてください。

（大田本校）
〒699-2211　島根県大田市波根町970-1
TEL 0854-85-7011　FAX 0854-85-7113
（林業科）
〒690-3405　島根県飯石郡飯南町上来島1207
TEL 0854-76-2100　FAX 0854-76-2103
E-mail　nodai@pref.shimane.lg.jp
ホームページ http://www.pref.shimane.lg.jp/norindaigakko/
facebook https://www.facebook.com/shimane.norindaigakko

（2022.6作成）